

とするものだ。雇用や介護の場を生み、多くの若者を介護や看護の道に導き育成することにな

ることから、基本的に本市としては、無償貸付等の要望に沿いたいと考えている。

まちづくり



交通社会実験 再度実施へ

問 路面電車の延伸を想定して、平成13年2月に実施した交通社会実験を再度行うと聞かすが、その内容は。

答 前回の実験での指摘を踏まえ、市役所筋東側の歩道寄り一車線を削減し、その中に路面電車に見立てたバスを走らせることを考えている。今後、公安

委員会や関係事業者等との協議を進めながら、実施時期や具体的内容等を検討したい。また、この実験結果を、市民全体の広範な議論につながるよう、判断材料として積極的に公表していきたい。

東部市民温泉(仮称)の概要は

問 東部クリーンセンターの余熱利用施設として整備が予定されている温浴施設等を中心とした健康増進施設「東部市民温泉(仮称)」の概要は。

答 市民の健康増進や地元地域の活性化等を図ることを目的に、従来の温泉水に天然温泉という付加価値を付けることで、集客性を高



車線を減少。交通社会実験(市役所筋)

めようとされるものだ。市の負担軽減や、質の高いサービス提供を図るため、設計、建設、維持管理等を民間業者に委ねるPFI方式を視野に入れ検討している。



岡山の祭りを全国に発信

新しい

おかやま桃太郎まつり

問 四季折々の祭りを一本化して開催する「おかやま桃太郎まつり」の集客人員等の見込みは、将来的な目標は。

答 踊りやパレードを中心にした市民総参加の祭りを目指しており、六十三万人以上の参加者を見込み、大きな経済波及効果を期待している。四年後の

岡山国体に向け、総力を結集して全国に認知される祭りに育て、十年以内には、阿波おどりやさこい祭りに匹敵する祭りに仕上げたい。

地域情報水道構想 モニター意見を参考に推進

問 地域情報水道構想の実証実験に参加したモニターの反応は、災害への対応は。

答 通信費の節減、インターネットの高速化による快適性に寄与するとの意見がある一方、ビデオコンテンツの充実等を要望する声も多い。今後、アンケート調査での意見を参考に、市民が利便性を享受できる基盤整備を進めていきたい。災害対策として、情報水道構想で使用しているサーバーの情報蓄積機能を、市民や企業のデータをバックアップするために使用することを検討したい。また、下水道ファイバーは、その特性から都市における安全性を高める方向と考へており、今後の事業展開に生かした



スマートシティに向けたファイバー網を整備

デジタルミュージアムの整備推進体制強化へ

問 駅元町再開発ビル内に計画されているデジタルミュージアムの施設概要は、学芸員の確保等今後の取り組みは。

答 総面積は約六千平方メートルを想定している。総事業費、スペース割り等は、平成13年度中に岡山市デジタルミュージアム(仮称)構想・整備検討委員会で検討していく。13年4月に、学芸員のキャリアを持つ専門職員一人、兼務職員二人を増員配置し、推進体制の強化を図っている。5月には、検討委員会に専門家で構成する作業部会を設置し、歴史・電子工学分野の調査研究を行っており、今後、推進組織を明確にしていく中で、広く人材を求めたい。